

## アメリカの地下核実験に抗議する

我々は貴殿がこのたび、多くの科学者の専門的な立場からの反対声明にもかかわらず、アリューシャン列島アムチカ島における核実験を命令された事に強く抗議するものであります。

我々は平和を愛する国民として、一貫して核兵器を中心とする一切の殺人兵器の開発、利用に対し反対の意を表してきたが、今回のアリューシャン列島での地下核実験という新たな事態に対して、再度我々の態度を表明するものであります。

アリューシャン列島及びその周辺は全地球上で最も活発な造山帯の一部をしめており、それゆえ多くの火山、地震の多発地帯地殻変動地帯に属し、現在それらは活発な活動を続けている地域であります。

このような地域においての地下核実験が火山活動、地震現象、断層運動に与える影響についての安全性が十分に、科学的に立証されていない現在、我々は専門的立場から貴国が引き続き実施されようとしている行為に対し深く憂慮するものであります。

今後引きつづき、さらに大規模な地下核爆発が行なわれた場合、火山活動、地殻運動に刺激を与え、地震津波を誘発する可能性がある事を指摘し、すみやかに中止を決定される様強く要望するものであります。

アリューシャン列島は我が国に近接し、憂慮された事態が生じた際にこうむる被害は甚大であるととも、かかる大量殺戮兵器の開発をされる事自体に対して強く抗議するものであります。

1969年10月10日

地学団体研究会

アメリカ合衆国大統領

リチャード・M・ニクソン殿